

インスタでマーシャル女子が激増中!

SNSでバズるのは

ここ数年首にヘッドホンをかける「ヘッドホン女子」「ヘッドホン男子」が激増しているが、その火付け役のひとつとなったのがマーシャルのBluetoothヘッドホン「Majorシリーズ」だ。ファッションの男前感を高めるワンポイントとして優秀だが、マーシャルが売れているのはそれだけではない。使ってみるとわかるサウンド、装着性、高い機能性こそが買ったひとの心を掴んで離さないのだ。ここではマーシャルをおしゃれヘッドホンとして注目している方に、新作とブランドの魅力を紹介しよう。

文／編集部



実は創業60年以上ある 由緒正しき楽器ブランド

オーバーヘッド型ヘッドホンがファッションアイテムのひとつになり、いま非常に人気を集めている。その流れを牽引するメーカーが「Marshall(マーシャル)」だ。インスタなどSNSで知った現代のファンにとって、Bluetoothヘッドホン「Majorシリーズ」はファッションアイコンのような存在で大バズりしている。マーシャルはジェンダー問わず人気なのも特長で、ロックなルックスは男前な印象もあってカジュアルスタイルにもピッタリ。さらにコンパクトな設計なのも、Majorシリーズが売れている理由のひとつだ。首にかけてもフェイスラインがスッキリ見えるし、使わないときは小さく折りたたむこともできる。側圧を過度に高めないオンイヤースタイルなので、装着性も軽快に感じるだろう。

またマーシャルは現代のファンには意外と知られていないが、ヘッドホン専業ブランドでもなければファッションブランドでもな

い。60年以上の歴史を持つギターアンプ・ブランドである。オールドファンにとっては、ロックのライブステージに高く積み上げられた通称「マーシャルの壁」と呼ばれるアンプに心躍らせたものだ。マーシャルでなければ表現できない「歪」やエモーショナルなサウンドは、そうしたギターアンプのサウンドから継承されており、今もヘッドホンやイヤホンのチューニングの下地になっている。

そんなマーシャルは今夏、新たなアイコンである「Major V」とインナーイヤー型の完全ワイヤレスイヤホン「Minor IV」を発売。本誌では昨冬発売して定番となっているノイズキャンセリング完全ワイヤレスイヤホン「Motif II A.N.C.」と共に紹介しよう。

おしゃれヘッドホンの 代表格「Major V」

まずマーシャルを代表するBluetoothヘッドホン「Major V」から見ていこう。ポイントは「変わらない美学と利便性の進化」である。

性能も凄いからだ

ワイヤレスヘッドホン

Marshall Major V

¥OPEN(直販サイト価格¥22,980/税込) ▶投票 No.019

再生時間 100時間	ドライバー カスタム ドライバー	防水性能 —
コーデック SBC,AAC, LC3**	質量 約186g	

※LC3は対応に向けて準備中

付属品:3.5mmヘッドホンケーブル(1.35m)、充電ケーブル



折りたたみできる堅牢な構造やメタルヒンジ、ギターアンプらしさを演出するレザー調のヘッドバンドなど美点であるデザインは、Majorシリーズが誕生した10年以上前から改良を加えつつ継承している。IVからの大きな進化はイヤーカップのデザインで、Vではレザートリートメントによりタフな印象を与えてくれるようになった。

機能面では高いバッテリー性能がまず目を引く。前作から25%増しの最大100時間の連続再生が可能になった。たとえカバンの中に何日も入れて使い続けても問題ないスタミナを備えているのだ。もちろん急速充電機能があるので、充電が切れたとしても安心だ。また左耳のイヤーカップに「Mボタン」が追加された。デフォルトでは「Spotify Tap機能」が割り振られており、ワンクリックでSpotifyアプリが立ち上がりすぐに好きな音楽にアクセスできる。次のプレイリストを再生するのにもMボタンをワンクリックするだけでシャッフル再生できる便利な機能である。このMボタンはカスタマイズでき、専用のスマホアプリ「Marshall Bluetooth」を使ってイコライザーの呼び出しか音声アシスタントの呼び出しに変更できる。また

内蔵マイクがアップグレードして風切り音をさらに軽減できるようになり、通話品質が向上しているのも注目だ。

そしてもちろんマーシャル・シグネチャーサウンドも健在。ディープな低音、歯切れのよい中高域は音楽のエネルギーを感じられるエモーショナルな音だ。やはりギターサウンドがビビッドで心地よいので、少し古い楽曲で恐縮だが、Nulbarich『It's Who We Are』を再生してみた。冒頭エレキギターのカッティングですぐに小さくヘッドバンギングしてしまう自分がいた。とにかく音楽のノリのよさをダイレクトに伝えてくるのだ。この楽曲はグラミー受賞歴があるマスタリング・エンジニアである故トム・コイン氏が担当。その清澄かつ抑揚の効いたサウンドを鮮やかに再現するから驚いた。ギターインプは轟音や歪でミュージシャンの心を掘んだが、Major Vにはノイズ感などはない。なおスマホアプリに搭載されるイコライザーは5バンドで、カスタムを含めて5種類から選べる仕様だ。筆者はより華やかなドンシャリサウンドになって気持ちいい「ミッドリダクション」のプリセットが気に入った。ぜひ使ってみてほしい。



完全ワイヤレスイヤホン

Minor IV

¥OPEN(直販サイト価格¥19,980/税込) ▶投票 No.020

再生時間 約7時間、 ケース込み約30時間	ドライバー 12mm	防水性能 IPX4(イヤホン) IPX3(ケース)
コーデック SBC AAC, LC3*	質量 約3.70g(イヤホン片耳) 約39.41g(充電ケース)	付属品:充電ケーブル ※LC3は対応に向けて準備中



軽快な「Minor IV」は 高機能と良価格を共存

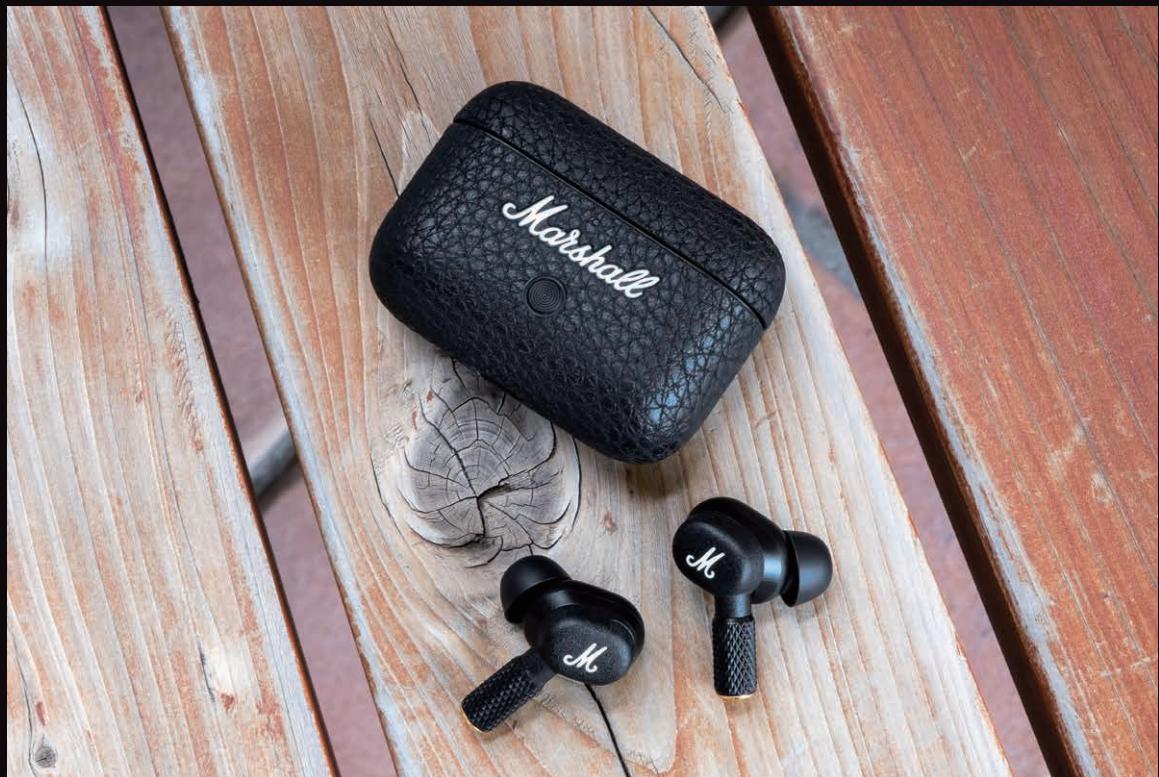
次はインナーイヤー型の完全ワイヤレスイヤホン「Minor IV」を見ていこう。マーシャルのイヤホンオンラインアップの中では入門機に位置づけられるシリーズで、価格に対して満足度の高いモデルである。詳細を語る前に、まず一聴して驚いた音質について語らせてほしい。というのも、カナル型ではなくインナーイヤー型でここまでパワフルな低域を味わえたのに驚いたからだ。バスドラムのアタック感が気持ちよく、しかも淀みなく鳴らすためボーカル帯域にマスキングすることもないタイトな低域なのだ。そのため中高域の透明度も高く各楽器のセパレーションも高い。この歯切れのよさはまさにマーシャルの音である。カスタム・チューニングされた12mmドライバーの実力を感じた次第だ。

デザイン面では細部までマーシャルらしさが感じられる。イヤホンの表面には梨地加工を、ケースにはシボ加工を施していたり、イヤー

ワックスガードなどにワンポイントでゴールドのメタルを使っていたりと美観と耐久性を加味したデザインである。ハウジングとステムも再設計されており、軽快さはそのままに装着性も向上している。Major Vのようなマーシャルらしさをイヤホンで楽しみたい人にお薦めしたいイヤホンだ。

タフでロック色の強い 「Motif II A.N.C.」

最後はノイズキャンセリング機能を搭載した完全ワイヤレスイヤホン「Motif II A.N.C.」だ。Minor IVと同様にステムのあるスティックタイプを採用したカナル型で、バッテリーのスタミナ性能をアップグレード。イヤホン単体で6時間。ケース込みの再生時間は30時間となり、前作からトータルの再生時間は10時間も向上。デザインも前作はオールブラックのデザインが特徴的だったが、IIに進化してゴールドのアクセントが加わり、より高級感が増している。ケースの表面



ノイズキャンセリング完全ワイヤレスイヤホン

Motif II A.N.C

¥OPEN(直販サイト価格¥29,800/税込) ▶投票 No.021

再生時間	約6時間、ケース込み 約30時間(ANC ON)	ドライバー	6mm	防水性能	IPX5(イヤホン) IPX4(ケース)
コーデック	SBC, AAC, LC3*	質量	約4.31g(イヤホン片耳) 約47.1g(ケース)	付属品	イヤーチップ(S/M/L)、 充電ケーブル

*LC3は対応に向けて準備中

はグリップのあるラバー調で耐久度を高めている。その一方で使い込むほどに味わいがでてきそうで好印象だ。

サウンドはマーシャルらしさを一切損ねない歯切れのよさと俊敏な低域再生が魅力的。ついロックの楽曲を聴きがちだが、EDMのサブベース帯域のビートもズンズン心地よく鳴らすのでお薦めだ。ボーカルが明瞭なので、もちろんPOPS中心の人にもお薦めできる。音の輪郭がはっきりしているので、少し古い録音の楽曲であっても明るくハッキリ聴こえる。どんどん音楽を聴きたくなる魅力的な音なのだ。

**芯が通った信念があるから
使う人を魅了し続ける**

またMotif II A.N.Cから始まってMajor Vまで新作には共通して採用されていることに「ワイヤレス充電」に加えて、「LE Audioの対応準備」と「サステナブル素材の採用」がある。前者のLE AudioはBluetoothの新しい標準コーデックで、SBCと比較して接続安定性



や音質が向上するもの。今後LE Audio対応のスマホが広く普及してきた際に対応していると嬉しいコーデックとなるだろう。後者は世界標準となりつつあるが、マーシャルがロングバッテリーになっているのもその一環だし、Motif II A.N.CだけでなくMinor IV、Major Vもリサイクルプラスチックも採用している。といってもチープさは皆無なのだが！

ロックミュージックというと昔は楽器を破壊するイメージがあつたかもしれないが、マーシャルは壊すといつても、旧態依然としたものを新しくする破壊的イノベーションを大切にするブランドだ。その証左のひとつにデザインや信念などの資産は残す一方、ギター・アンプの開発にだけにとどまらず、Bluetoothスピーカーやヘッドホンといった新しい製品開発を、同業他社より先に積極的に行い世界中でヒットを続けている。マーシャルは一見しただけではオシャレでかっこいいヘッドホンなのだが、サウンドは超本気だし内に秘めたるブランドのストーリーをもっと知れば、もっと愛着が持てる一台になるだろう。やはりマーシャルは凄い！